

昭和62年度 関西支場研究課題一覧表

関西地域研究推進目標による研究課題

研究問題	研 究 課 題	研究期間	担 当 研究室	課題責任者
1. 都市林 及び都市近郊 林の育成管理 技術の向上 (安永朝海)	1) 都市林の造成・管理技術の向上			前田 満
	(1) 植栽地盤の改良			白井 喬二
	① 根圏土壌の改善	60～65	土 壌	白井 喬二
	(2) 都市的環境下における病虫害発生とその対策			田村 弘忠
	① 病害の発生環境と防除	60～65	樹 病	峰 尾一彦
	② 害虫の生態と防除	60～66	昆 虫	田畑 勝洋
	2) 都市近郊林の林相管理技術の向上			大山 浪雄
	(1) 林相の推移の予測			河原 輝彦
	① アカマツ・落葉広葉樹林の取扱いと林相推移	60～65	造 林	河原 輝彦
	(2) 複層林化誘導技術の確立			河原 輝彦
	① ヒノキ天然更新稚樹の成立過程の解明	60～69	造 林	河原 輝彦
	② 樹下植栽木の生長過程の解明	60～69	造 林	清野 嘉之
	③ 針広混交誘導試験	61～70	造 林	井 鷲裕司
	④ 大阪営林局管内における複層林の収穫予測法の開発	61～65	経 営	家原 敏郎
	3) 都市近郊林の防災的管理技術の向上			大山 浪雄
	(1) 風化花崗岩地域における森林の崩壊防止機能の解明			服部 重昭
	① 根系の崩壊防止機能に及ぼす斜面条件の影響	60～62	防 災	谷 誠
	(2) 斜面排水工法の改善			服部 重昭
	① 排水工の効果の実験的検討	60～66	防 災	谷 誠
	(3) 防火・耐火林の構造と配置			大山 浪雄
	① 山火事跡地の植生回復	60～65	造 林	井 鷲裕司
	② 樹種別の耐火性	60～65	防 災	小林 忠一

林業試験場関西支場年報第29号 昭和62年度

研究問題	研 究 課 題	研究期間	担 当 研究室	課題責任者
2. 畿陽アカマツ林帯におけるヒノキ人工林造成技術 (安永朝海)	1) 育林技術の開発改良	※この研究問題は、60～63年まで特研「松跡ヒノキ」で対応	土 壤 土 壤 土 壤 造 林 造 林 土 壤 土 壤 造 林 昆 虫 昆 虫 昆 虫 経 営 経 営	
	(1) 成林可能地の分級			
	① 林地土壌の化学特性			
	② 林地土壌の水分環境			
	③ 分級基準			
	(2) 立地条件別の育成管理			
	① 植栽木の初期生長過程の解析			
	② 除・間伐と形質の関係解明			
	(3) 樹種混交・肥培管理による地力維持増進技術			
	① 林地施肥			
3. 先進林業技術の後発林業地への適用 (安永朝海)	② 混交林下の落葉分解過程			
	③ アカマツ・ヒノキ混交林の効果			
	(4) 病虫獣害の防除法の確立			
	① 主要害虫の生態と防除			
	② 野兎害発生機構の解明と被害防除			
	③ スミスネズミとワカヤマヤチネズミの発育特性			
	2) 技術の体系化と経営的評価			
	(1) 経営的評価			
	① 経営的評価法の開発			
	(2) 技術の体系化			
	① 育林技術の体系化			
	1) 発展類型別経営技術の確立	63～65 60～65 60～65 60～65 60～65	土 壤 経 営 経 営 樹 病 昆 虫	前 田 満 黒 川 泰 亨 白 井 喬 二 岩 水 豊 前 田 満 家 原 敏 郎 田 村 弘 忠 伊 藤 賢 介
	(1) 地域適応技術の解明			
	① 自然環境の解析			
	② 林業経営技術体系の確立			
	(2) 生産目標別施業技術の適用化			
	① 直径分布の推移と林分生長の関係解明			
	② 材質劣化に関与する病害の究明			
	③ スギカミキリ的大量飼育法及び被害発生予察法の確立と防除			

昭和62年度関西支場研究課題一覧表

研究問題	研 究 課 題	研究期間	担 当 研究室	課題責任者
4. 竹林業 の改善 (安永朝海)	④ 材質劣化に關与する獣害の究明	60～65	昆 虫	北 原 英 治
	(3) 後発林業地の組織化方式			黒 川 泰 亨
	① 林業経営管理手法の開発	60～65	経 営	黒 川 泰 亨
	② 地域林業組織化方式の確立	60～65	経 営	黒 川 泰 亨
	1) 竹材生産技術の向上			大 山 浪 雄
	(1) 竹林施業技術の改良			河 原 輝 彦
	① 竹材生産のための土壌条件の解明	60～65	土 壌	西 田 豊 昭
	② 竹林の取扱いと再生産	60～65	造 林	河 原 輝 彦
	③ 竹林・竹材害虫の生態と防除	60～65	昆 虫	田 畑 勝 洋

広領域・特定問題研究課題

大型別枠 〔バイオマス〕	生物資源の効率的利用技術の開発に関する総合研究	(56～65)		
	2) 林地生態系における新樹種の導入と効率的生産システム			
	(2) ササ資源の繁殖特性利用による多収穫技術			
	⑩ 恒続的収穫法－太平洋側環境下におけるササ類の恒続的な収穫法 (I)	60～62	造 林	河 原 輝 彦
特別研究 〔松跡ヒノキ〕	低位生産地帯のマツ枯損跡地におけるヒノキ人工林育成技術の確立	(60～63)		
	1) 低位生産地帯の立地特性の解明と適地区分法の開発			
	(2) 低位生産地帯のヒノキ造林適地区分法の開発			
	① 造林適地区分法の作成－近畿・山陽花崗岩山地	60～63	土 壌	吉 岡 二 郎
	2) 低位生産地帯におけるヒノキ人工林育成技術の開発			
	(1) 立地条件別育成技術の開発			

林業試験場関西支場年報第29号 昭和62年度

研究問題	研 究 課 題	研究期間	担 当 研究室	課題責任者
	① 立地条件別育成技術の開発－近畿・ 山陽東部・山陰山地	60～63	造 林	河 原 輝 彦
	(2) 樹種混交、肥培等による地力維持増進 技術の改善			
	① 土壌流亡防止に与える混交効果の解 明	60～63	防 災	服 部 重 昭
	② 物質循環に与える混交効果の解明	60～63	造 林	河 原 輝 彦
	③ 土壌に与える混交効果の解明	60～63	土 壌	白 井 喬 二
	④ 幼齡木に対する施肥効果の解明	60～63	土 壌	白 井 喬 二
	3) 低位生産地帯におけるヒノキ人工林保護 管理技術の開発			
	(2) ノウサギの食害防止法の開発			
	① ノウサギの食害要因の解明	60～63	昆 虫	山 田 文 雄
	(3) 抵抗性早期検定手法の開発			
	① 乾燥抵抗性の機構解明と早期検定手 法の開発	60～63	造 林	河 原 輝 彦
	② 樹脂腐朽病抵抗性早期検定手法の開 発	60～63	樹 病	田 村 弘 忠
	4) ヒノキ人工林の経営的評価法の開発と育 成技術の体系化			
	(1) 経営的評価法の開発			
	① 立地条件別技術体系の解明	60～62	経 営	黒 川 泰 亨
	② 立地条件別経営的評価法の開発	60～62	経 営	黒 川 泰 亨
	(2) 育成技術の体系化			
	① 立地条件別育成技術の体系化	61～63	経 営	長谷川敬一
	② 新育成技術体系の経営的評価	61～63	経 営	長谷川敬一
	5) 低位生産地帯におけるマツ人工林保護管 理技術の開発			
	(1) 抵抗性強化技術の開発			
	① マツノザイセンチュウの弱病原性系 統の選抜	61～63	樹 病	田 村 弘 忠
公害防止 〔都市近郊林〕	都市近郊樹林等森林の公益的機能の維持強化 のための管理技術の開発に関する研究	(61～65)		

昭和62年度関西支場研究課題一覧表

研究問題	研 究 課 題	研究期間	担 当 研究室	課題責任者
	1) 都市近郊樹林等森林の構成要因の実態解明 (3) 暖温帯地域の都市近郊樹林等森林の特性 ① 暖温帯地域の植物相 ② 暖温帯地域の昆虫相 ③ 暖温帯地域の鳥獣相	61~63 61~63 61~63	造 林 昆 虫 昆 虫	河 原 輝 彦 田 畑 勝 洋 北 原 英 治
公害防止 〔酸性降下物〕	公益的機能を重視した育林技術の向上 1) 生活環境保全のための森林の機能の解明 (1) 大気汚染に対する林木の耐性と大気保全機能の解明 関西地方における樹木衰退の実態とその立地要因	62~66	造 林	清 野 嘉 之
特定研究 〔マツ枯損防止〕	マツ枯損防止新技術適用化促進調査 1) 新防除法の開発と適用 (2) 生理活性物質等の利用 ① 誘引剤によるマツノマダラカミキリのモニタリング	(58~) 58~62	昆 虫	田 畑 勝 洋
特定研究 〔冠雪害防除〕	人工林冠雪害の育林的防除技術開発調査 (1) 冠雪害発生要因の解析 ② 環境・林分構造・保育方法と被害との関係	(58~) 58~62	造 林	河 原 輝 彦
特定研究 〔サクラ主要病害〕	サクラ主要病害の発生機構 ③ 吉野はか有名サクラ植栽地における退廃の病因解明と防除	51~ 59 (65)	樹 病	田 村 弘 忠
指定研究 〔林野火災〕	広域群発林野火災の発生拡大条件 アカマツ林・ヒノキ林の火災特徴	62	防 災	服 部 重 昭

部門間分担研究課題（本支場分担研究）

研究問題	研 究 課 題	研究期間	担 当 研究室	課題責任者
〔造林部門〕 1. 生産増大と生産性向上のための育林技術の高度化	1) 生産目標に対応した人工林育成技術の確立 (1) 間伐、枝打ち技術の高度化 ⑧ 保育形式比較試験	30～70 (59)	造 林	河 原 輝 彦
〔土壌部門〕 3. 林地の合理的利用のための立地区分技術の向上	1) 林野土壌分類の精密化 (4) 未熟土壌の特性・成熟過程の解明と分類の改善 ② 低山帯の未熟土壌の特性解明	60～65	土 壌	西 田 豊 昭
〔防災部門〕 2. 水保全技術の向上	1) 森林の水保全機能の計量化 (2) 森林流域における降水流出機構の解明 ② 温暖少雨地帯における林況変化が流出に及ぼす影響	60～65	防 災	服 部 重 昭
〔保護部門〕 1. 森林病害防除技術の向上	1) 病害発生動向の解明 (1) 病害発生情報の収集と発生動向の解析 ① 突発性病害の発生生態 ② 病害発生情報の収集と解析 3) 森林病害防除技術の改善および新防除技術の開発 (1) 抵抗性要因の解明と早期検定法の確立 ② マツ材線虫病における抵抗性機構	60～69 60～69 60～69	樹 病 樹 病 樹 病	田 村 弘 忠 田 村 弘 忠 田 村 弘 忠
2. 森林害虫防除技術の向上	1) 森林昆虫および天敵の分類、検索と生理・生態の解明 (1) 森林害虫の発生情報の収集と発生動向の解析			

昭和62年度関西支場研究課題一覧表

研究問題	研 究 課 題	研究期間	担 当 研究室	課題責任者
4. 林業薬 剤による防除 技術の改善	② 害虫発生情報の収集と解析	60～69	昆 虫	田 畑 勝 洋
	2) 森林害虫の個体群変動要因の解明			
	(1) マツノマダラカミキリの個体群動態と マツ枯損の疫学的解明			
	① マツ枯損の量的・質的変動の解析	60～65	昆 虫	田 畑 勝 洋
	3) 新防除法の開発・改良および害虫管理手 法の体系化			
	(1) 森林害虫被害発生予察技術の確立			
	② 松くい虫被害の発生予察	60～65	昆 虫	田 畑 勝 洋
	3) 林業薬剤の森林環境に及ぼす影響の解明			
	(2) 森林生態系における運命			
	① 有機りん剤によるヒノキの薬害	60～62	昆 虫	田 畑 勝 洋